

特集 エス・ディー・ジーズ SDGs って何だろう？

～手をつなごう 誰一人取り残さないために～



近頃、「SDGs」という言葉をよく見聞きしませんか？世界の目標や企業の取り組みが紹介されていますが、なんだか自分自身とは縁遠い存在に思うかもしれません。けれど、そんなことは決してありません。国・企業・自治体だけでなく、私たち一人ひとりにもできる身近なことも多くあります。コロナ禍の中でも「誰一人取り残さない」ための目標について、考えてみました。



SDGsとは、英語の Sustainable Development Goals の略称で、「**持続可能な開発目標**」という意味です。

その前身は、2000年に採択された**ミレニアム開発目標 (MDGs)**です。

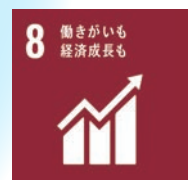
MDGsは、開発途上国の開発問題を中心として、貧困の減少や初等教育の普及など、一定レベルの成功を収めました。目標達成できなかった課題もありました。

このため、2015年に国連サミットで採択されたのが、SDGsです。国連の全ての加盟国が合意しています。2030年までを期限として、世界全体で取り組むべき**17の目標 (ゴール)**と、**169の具体的な目標 (ターゲット)**から構成され、その達成度合いを測るための**指標**があります。

SDGsは、開発途上国の目標だけでなく、持続可能なエネルギーの利用拡大、海洋資源の保護、気候変動対策など先進国が率先して取り組むべき目標も盛り込まれています。SDGsの決定までには、世界中でさまざまな立場の人たちが協議を重ね、世界から1千万人以上の人々が、オンライン調査を通じて声を届けることで成立しました。SDGsの17の目標は、相互に関係しています。社会の中にある多くの課題は、互いに複雑に絡みあっていて、それぞれが関連しているからです。

2020年世界のSDGs達成度ランキングでは、日本は17位でした。環境分野やジェンダーなど人権分野での評価が低いため、少しずつ順位を下げています。2030年までの目標は、あらゆる人々が行動を起こさなければ、達成できるものではありません。

多様な人々が自分らしく暮らしていける社会を、実現していきましょう。



SDGsのきほん
未来のための17の目標⑥
ジェンダー 目標5
稲葉茂勝著/ポプラ社



SDGsの基礎知識を、写真と絵をふんだんに入れて分かりやすくした絵本。大人がお子さんといっしょに、会話をしながら読むのもお勧めです。

SDGs (持続可能な開発目標)
蟹江憲史著/中公新書



世界と日本、団体や個人がどうSDGsに取り組むべきかを説いています。「SDGsには、確実な『未来のカタチ』が示されており、それが希望の灯」と著者は言います。

未来を変える目標
SDGs アイデアブック
一般社団法人 Think the Earth
編著・発行/蟹江憲史監修



日本や世界のさまざまな取り組みを、分かりやすい言葉で紹介しています。「気になるコトバ」「考えてみよう」など、これからの行動のヒントもあります。

本の紹介